

平成29年度看護部研修詳細(ラダーⅡ)

No.	日程	研修テーマ	学習目標	内容構成	E-learning予習/復習
1	①5/13 ②5/22 ③5/31	呼吸器系のフィジカルアセスメント(基礎編)	①呼吸音の種類、聴診方法理解し、胸部所見をアセスメントができ、言語化して説明することができる。 ②動脈血酸素飽和度の適切な使用方法(測定方法・装着部位)を理解し、看護実践に伴うアセスメントにつなげることができる。	・実際の呼吸音をシミュレーター(ラング君)を用いて聴診する。 ・聴取した呼吸音から胸部身体所見のアセスメントを言語化する訓練を行う。→参加者に対して事前資料配布 ・動脈血酸素飽和度の適切な使用方法(測定方法・装着部位)がわかる。→参加者に対して事前資料配布	3/25-4/30 ・ナーシングメソッド:症状・生体機能管理技術(呼吸音の聴取、パルスオキシメーターによる測定) ・基礎習得コース1:バイタルサインのみかた ・中堅コース:呼吸器系のフィジカルアセスメント
2	①6/5(月) ②6/17(土) ③6/29(木)	脳神経系のフィジカルアセスメント(基礎編)	【神経症状の観察から頭蓋内圧亢進兆候をアセスメントすることができる】 ①意識レベル、瞳孔所見の正しい観察方法を習得できる。 ②①の観察とVS測定値(血圧・呼吸・脈拍など)を統合して、頭蓋内圧亢進状態についてアセスメントすることができる。	・適切な意識レベル、瞳孔所見など神経兆候の観察方法、頭蓋内圧亢進徴候をアセスメントに関する講義 ・シミュレーションモデル(フィジコ)の頭蓋内圧亢進シナリオを用いた神経学的所見の観察とアセスメントのデモンストレーション。	【必修】ナーシングメソッド:①救命救急処置技術(意識レベルの把握)、②症状・生体機能管理技術(瞳孔の評価)の視聴とテスト 【参考視聴】・基礎習得コース1:バイタルサインのみかた ・基礎習得コース10:急変時対応の実際 ※参考視聴については、研修参加要件とはせず、個人の学習意欲に任せる。
3	①7/3(月) ②7/14(金) ③7/29(土)	呼吸器系合併症予防のためのポジショニングと気道ケア	①呼吸器合併症を予防するための適切で安楽なセミファーラー位、側臥位のポジショニングを習得することができる。 ②解剖学的根拠に基づいた正しい気管吸引の手技を確認し、自身の吸引手技を振り返ることができる。	・呼吸器系合併症予防のための気道・肺に関する解剖生理のキーポイントの講義 ・安楽な呼吸、呼吸器系合併症予防のための適切なセミファーラー位、側臥位のポジショニングのシミュレーション ・気管吸引の適切な挿入長確認のシミュレーション	【事前学習】以下の2つのE-Learningの視聴とテスト ・ナーシングメソッド:呼吸・循環を整える技術:体位ドレナージ ・ナーシングサポート:基礎習得コース:安全な吸引・排痰を行うための手技とコツ
4	①7/8(土) ②7/12(水) ③7/18(火)	循環系モニタリング(致死的不整脈の判読とリスク回避)	①正常心電図の成り立ちを理解し、患者の心電図波形から正常・異常の判断ができる ②致死的不整脈を判読できる	・致死的不整脈判読シミュレーション(シミュレーターイッチローくんを使用) ・不整脈判読ドリルによるグループワーク	・基礎習得コース9:ここからスタート!心電図モニターとの付き合い方の視聴とテスト(100点満点が参加受講要件) ※当日は講義を行わず、不整脈判読シミュレーションの集中実施のため、確実に視聴し、研修当日は本テーマの配布資料を各自印刷して持参すること。
5	①8/16(水) ②8/23(水) ③8/31(木)	知識と根拠に基づいた正しいインスリンの使用と患者指導	・インスリン治療の目的と必要性が説明できる。 ・院内で使用されているインスリンの種類と特徴を知ること、患者にあったインスリン注射のタイミングを説明することができる。 ・インスリン注射手技について患者指導ができる。低血糖やシックデイ、インスリンボールについて説明と対処法も説明できる。	・糖尿病とインスリン注射、患者指導についての講義。 ・インスリン注射手技の演習(OSCE)	学研ナーシングサポート ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェックコース ・VNMAH145 インスリン製剤の種類・用法と副作用 ・VNMAH150 インスリン注射 ・VNMAH160 インスリン注射(ペン型) ・中堅コース:全診療科必見!糖尿病をもつ患者の療養行動の実施に向けた理論を活用したアプローチ 上記4題すべての視聴と確認テスト(100点を獲得)を事前課題とする。
6	①8/5(土) ②8/10(木) ③8/14(月)	周術期看護①:手術に伴うリスクファクターの術前アセスメント	①手術を受ける患者のリスクアセスメントに必要な検査データを収集することができる ②①をもとに、術後の潜在的リスクを予測し、観察項目を抽出できる。	術後起こりうるリスクアセスメントの事例検討 事前課題での予習・研修当日のGW・講師からの模範ワーク回答の提示	研修参加申し込み者に配布する事例ワークシート
7	①9/4(月) ②9/11(月) ③9/16(土)	周術期看護②:全身麻酔手術患者の安全管理/術直後ケアを含む	①上気道閉塞兆候の多面的な観察(意識確認・視診・触診・聴診)が行なえ、フィジカルアセスメントができる ②気道閉塞緊急時の経口エアウェイの挿入手技を習得できる。	・上気道閉塞兆候のフィジカルアセスメントシミュレーション ・気道閉塞緊急時の経口エアウェイ挿入シミュレーション	①ビジュアルナーシングメソッド「救命救急処置技術(気管挿管の準備と介助)」を視聴する。 ②ビジュアルナーシングメソッドプラス「救急(経口エアウェイ、経鼻エアウェイ)」を視聴する。 ① ②のテストの100点満点が研修受講要件